

御伝鈔 (その1)

親鸞聖人のひ孫である覚如上人が、親鸞没後33年に親鸞聖人の御遺徳を讃えた『報恩講私記』を著わされました。続いてその翌年、親鸞聖人の伝記絵『親鸞伝絵』を著わされ、詞書（ことばがき）の部分だけを『御伝鈔』（上巻・八段、下巻・七段）といいます。

第一段「出家学道(しゅつがくどう)」

親鸞聖人は、藤原鎌足をはじめとする藤原氏の流れをくむ者です。

父親は、皇太后宮職の大進・日野有範です。このような家系に生まれた方ですから、朝廷に仕えてさえいれば高位まで出世もできたであらうが、親鸞聖人は正しく仏教の教えを世にひろめたいと強く思われていました。

そこで9歳の春、伯父の日野範綱に連れられて、青蓮院の慈鎮和尚のもとで得度をし、出家をしました。この時から名前を範宴とされました。

比叡山延暦寺(天台宗)に登り、横川に住んでいた源信和尚の流れをくみつつ、天台宗の奥深い教えを学んでいかれました。



平成27年 護持会総会 集合写真



庫裏にて懇親会



お接待をお引き受け下さいました

宮川会長、西田副会長、石原副会長



本堂廊下にて記念撮影。
お楽しみはここからです。庫裏へ移動しての懇親会。手品の余興もあり、大盛り上がりで総会を無事に終えました。
ご出席された皆さま、有難うございました。

住職レター

寺での総会ですから、讃仏偈の読経で開式しました。

先日（二月十一日）、善教寺護持会総会を開催しました。出席者人数は四十七名。過去最高の参加者でした。そして嬉しいことに、年々、ご婦人方の出席が増えています。

続いて、宮川会長の挨拶、護持会役員の紹介と続き、議題の審議。全ての議題を承認いただき、最後は、西田副

会長の挨拶で終了。司会進行役

は石原副会長でした。その後、

本堂廊下にて記念撮影。

お楽しみはここからです。庫

裏へ移動しての懇親会。手品の

余興もあり、大盛り上がりで総

会を無事に終えました。

ご出席された皆さま、有難う

ございました。